

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 山喜株式会社 上場取引所 東
コード番号 3598 URL <https://www.e-yamaki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白崎 雅郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門長 (氏名) 中田 一裕 TEL 06-6764-2211
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月12日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	11,448	0.4	221	—	262	—	214	△54.3
2023年3月期	11,397	18.0	△101	—	△79	—	468	—

(注) 包括利益 2024年3月期 322百万円 (9.7%) 2023年3月期 294百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	15.11	15.03	5.3	2.2	1.9
2023年3月期	33.08	32.91	12.6	△0.7	△0.9

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	11,183	4,211	37.5	296.13
2023年3月期	12,279	3,890	31.5	273.40

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,198百万円 2023年3月期 3,873百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	695	308	△1,214	917
2023年3月期	31	392	△247	1,135

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	42	19.9	1.1
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00		21.3	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	5.7	275	24.4	255	△2.9	200	△6.6	14.11

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	14,950,074株	2023年3月期	14,950,074株
2024年3月期	773,184株	2023年3月期	781,883株
2024年3月期	14,174,680株	2023年3月期	14,168,191株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	9,933	△1.9	167	—	251	—	232	280.9
2023年3月期	10,130	13.9	△65	—	△104	—	61	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	16.40	16.32
2023年3月期	4.31	4.28

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	10,627	4,887	45.9	343.87
2023年3月期	11,692	4,571	39.0	321.65

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,874百万円 2023年3月期 4,557百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し.....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによる行動制限の解除により、個人消費やインバウンド需要が増加し、経済・社会活動は緩やかに回復しております。しかしながら、国際情勢に起因するエネルギー資源や原材料価格の高騰、および為替の円安ドル高などによる物価上昇が、消費マインドや企業活動に影響を及ぼしており、先行きは不透明な状況が続いております。また、当アパレル業界におきましては、外出需要の増加により、個人消費は緩やかな回復基調にあるものの、物価高による消費者の節約志向が強まっており、依然として不透明な経営環境が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、販売価格の見直しや在庫販売の促進に加え、得意先の店頭状況も比較的好調であることから、収益は回復基調にあります。

また、2023年度からスタートした「新中期3ヵ年経営計画」に掲げた基本方針を着実に実行することで、売上の拡大と収益の回復に取り組んでおります。なお、「新中期3ヵ年経営計画」のスローガンおよび、各施策に対しての具体的な進捗状況は以下のとおりであります。

① 「FANFUN150」のスローガン

お客様に一生を通してシャツを選んでいただく楽しさ、お客様がシャツに袖を通す喜び、当社の商品を通して山のような喜びをご提供することで、山喜のファンになっていただくこと。つまり新規顧客へのアプローチにより、山喜のファンを150倍に増やすこと・・・『FAN』

そのためには、シャツの広がり創造する楽しさ、お客様の生活文化の向上に貢献できる楽しさ、お客様の幸せな笑顔を感じる楽しさを追求し、2025年度（第74期）には、売上高150億円を達成し、全社員が楽しみながら仕事をし、生活を豊かにしていくこと・・・『FUN』

以上のような想いが、このスローガンには込められています。

② オリジナルブランドの構築

百貨店チャネルのドレスシャツ売場におきましては、継続して実施している「CHOYA」ブランドのコーナー化・一社化・ショップ化の営業政策により、既製ドレスシャツのシェアは75%、同じくオーダーシャツのシェアも75%と高水準を維持しております。既製ドレスシャツにつきましては、「CHOYA」ブランドの超形態安定シャツ・スリムフィットに加え、地域特性・店舗特性に適応した新たなスタイルと価格のバリエーションを提案強化しており、加えてレディースシャツの展開を拡充することで、さらなるFAN獲得を図ってまいります。

オーダーシャツにつきましては、ライセンスブランドの絞り込みに伴い、「CHOYA」ブランドの品揃えを充実させるなど、店頭フェイスの拡大を図ることで、お客様への認知度をアップさせております。

量販店チャネルの消費者直販型事業である「SHIRT HOUSE」におきましては、前連結会計年度末の109店舗から、当連結会計年度末では119店舗まで増加しております。既に展開しているSWANグリーンレーベルに加え、更にホワイトレーベル・ブルーレーベル・ブラックレーベルのラインナップを増やすことにより、SWANブランドのフェイス拡大と、当社一社化の売り場へもチャレンジしてまいります。

③ B to Cの強化による収益アップ

消費者直販型事業（B to C）の強化におきましては、自社サイトである山喜オンラインショップの会員数が、前連結会計年度末の26,651名から、当連結会計年度末では、33,144名にまで増加しました。今後、ネット販売における営業人員のスキルアップ、人員補強を継続的に行いながらカスタマーサービス、システム面の補強を行い運営体制の強化を進め、さらなる売上・収益の拡大を図ってまいります。

百貨店チャネルの既製ドレスシャツ・オーダーシャツ売場の消費者直販型事業におきましては、取引形態の消化売上移行による条件改定、小売価格のアップ等により、収益が拡大しております。今後は、都心大型百貨店の販売員増によるシェアアップを図り、継続的に進めている消化売上店舗の拡大と、直営店の新規出店も視野に入れ、収益拡大に努めてまいります。

量販店チャネルの消費者直販型事業である「SHIRT HOUSE」は、量販店ドレスシャツ売場で当社商品によるコーナー展開をしているコンセ店舗です。この「SHIRT HOUSE」におきましては、小売価格の見直し、コーディネート販売の強化、店頭販売員のスキルアップの教育などを徹底したことにより、売上・収益面ともに順調に推移しております。引き続き、1店舗あたりの運営効率を向上させるために、無人店舗を減らし販売員付きのコンセ売場を拡充することにより、売上の拡大を図ってまいります。

④ ドレス・カジュアル・レディース・ユニフォームの新商品開発と売上拡大

ドレスシャツにおきましては、2024年春物のフレッシュャーズ商戦は、やや盛り上がりには欠けましたが、前期から継続して実施している納品価格交渉の成果と、為替予約方法の見直しにより、粗利率は改善できました。

カジュアルにおきましては、3月に入っても気温が上がらず、春物については一部苦戦を強いられましたが、秋冬から展開している3WAYアウター等の動きが良く、シーズンレスで着用可能な商品は好調に推移しました。

レディースにおきましては、専門店各社のフレッシュャーズ需要が、立ち上がりは低迷しましたが、後半戦の3月は好調に推移しました。

ユニフォーム関連におきましては、イージーケア性に優れたトリコット素材を使用した商品が好調に推移しており、同素材を使用したスクールシャツの提案など、新商品を強化することで、売上の拡大を図っております。

また、2025年春夏物に向けては、吸湿吸熱冷感機能のキシリトール・ドットコーティング加工素材の強化、遮熱性効果素材「サンシエルタ」ブラウスなど、新商品の提案を強化し、受注拡大に努めております。

この結果、当連結会計年度の業績は、連結売上高114億48百万円（前年同期は113億97百万円）、営業利益2億21百万円（前年同期は1億1百万円の損失）、経常利益は2億62百万円（前年同期は79百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、2億14百万円（前年同期は4億68百万円の利益）となりました。

事業セグメントごとの業績は次のとおりであります。各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

① 国内販売

国内販売セグメントは上述の要因により、売上高99億17百万円（前年同期は100億66百万円）、セグメント利益2億2百万円（前年同期は1億7百万円の損失）となりました。

② 製造

製造セグメントにおいては、得意先からの発注数量減少により生産調整を行ったことで、売上高は23億19百万円（前年同期は24億62百万円）、セグメント損失33百万円（前年同期は50百万円の利益）となりました。

③ 海外販売

海外販売セグメントにおいては、中国協力工場向けの受注増加やカジュアル製品の売上増等により、売上高は5億38百万円（前年同期は3億14百万円）、セグメント利益13百万円（前年同期は5百万円の利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は111億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億95百万円減少となりました。これは主に、棚卸資産が減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は69億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億16百万円減少となりました。この主な要因は、短期借入金、長期借入金、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は42億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円増加となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億18百万円減少し、9億17百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得た資金は、6億95百万円となりました（前年同期は31百万円の収入）。これは主に棚卸資産の減少によるものであります。

投資活動の結果得た資金は、3億8百万円となりました（前年同期は3億92百万円の収入）。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入であります。

財務活動の結果支出した資金は、12億14百万円となりました（前年同期は2億47百万円の支出）。これは主に短期借入金の減少によるものであります。

(4) 今後の見通し

国内アパレル業界をめぐる環境は、物価上昇による消費者の買い控えや、コロナ禍による一時的な需要回復の停滞などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

国内小売市場は、オムニチャネル化の進展、デジタルマーケティングの拡大、消費者ニーズの多様化に加え、サステナビリティへの取り組みや、SDGsなど、環境配慮に対する考え方は、ますます重要になっております。

また、世界的なエネルギー資源の高騰や、日米金利差等による円安ドル高の影響により、原副材料価格の上昇や、生産拠点における製造原価の高騰などが予想されます。また、国内におきましても労働需給の逼迫による人件費、物流費などの上昇により、販売・流通コストはさらに、上昇傾向にあります。

このような状況に対応すべく、2024年度に2年目を迎える「新中期3ヵ年経営計画」を継続的に実行することで、売上高および収益のさらなる拡大を目指してまいります。

※上記の予想は、2024年4月時点における入手可能な情報に基づき、一定の仮定をおいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の大半は国内の株主、債権者、取引先であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,190,003	2,027,795
受取手形	15,371	5,494
売掛金	1,787,765	1,680,585
契約資産	113,000	96,000
製品	3,676,238	3,120,752
仕掛品	94,324	65,034
原材料	190,219	168,607
その他	879,030	570,824
貸倒引当金	△210	△120
流動資産合計	8,945,742	7,734,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	796,792	785,676
機械装置及び運搬具（純額）	47,114	35,945
土地	1,917,436	1,940,194
その他（純額）	26,686	26,446
有形固定資産合計	2,788,029	2,788,262
無形固定資産		
借地権	347,652	347,652
リース資産	12,573	—
その他	57,108	37,751
無形固定資産合計	417,334	385,404
投資その他の資産		
投資有価証券	78,265	113,344
繰延税金資産	—	88,792
退職給付に係る資産	2,071	42,734
その他	49,561	31,505
貸倒引当金	△1,721	△1,621
投資その他の資産合計	128,176	274,755
固定資産合計	3,333,540	3,448,422
資産合計	12,279,283	11,183,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,737,351	1,418,898
短期借入金	3,750,611	3,001,737
1年内返済予定の長期借入金	589,466	541,425
未払法人税等	71,463	63,506
契約負債	362,677	326,776
賞与引当金	20,400	84,519
その他	476,222	506,710
流動負債合計	7,008,191	5,943,572
固定負債		
長期借入金	1,172,721	831,296
繰延税金負債	9,026	—
再評価に係る繰延税金負債	121,522	121,522
退職給付に係る負債	53,418	54,776
その他	23,593	21,197
固定負債合計	1,380,281	1,028,791
負債合計	8,388,472	6,972,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,355,227	3,355,227
資本剰余金	2,193,031	2,192,974
利益剰余金	△1,492,621	△1,278,510
自己株式	△158,086	△156,327
株主資本合計	3,897,551	4,113,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,926	45,656
繰延ヘッジ損益	△44,293	14,699
土地再評価差額金	105,710	105,710
為替換算調整勘定	△83,791	△88,128
退職給付に係る調整累計額	△22,526	6,894
その他の包括利益累計額合計	△23,974	84,832
新株予約権	14,530	12,836
非支配株主持分	2,702	—
純資産合計	3,890,810	4,211,033
負債純資産合計	12,279,283	11,183,398

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	11,397,464	11,448,017
売上原価	8,592,790	8,238,185
売上総利益	2,804,673	3,209,832
販売費及び一般管理費	2,906,070	2,988,822
営業利益又は営業損失(△)	△101,396	221,009
営業外収益		
受取利息	3,730	9,322
受取配当金	1,651	2,221
仕入割引	15,865	16,161
助成金収入	39,700	1,172
為替差益	61,331	90,288
その他	12,139	12,006
営業外収益合計	134,418	131,171
営業外費用		
支払利息	57,741	62,751
支払手数料	44,200	12,481
支払割引料	8,035	6,611
その他	2,453	7,781
営業外費用合計	112,430	89,626
経常利益又は経常損失(△)	△79,408	262,554
特別利益		
関係会社清算益	—	1,511
関係会社株式売却益	361,997	—
固定資産売却益	243,789	—
債務免除益	25,006	—
その他	—	17
特別利益合計	630,793	1,529
特別損失		
棚卸資産評価損	84,122	78,103
店舗閉鎖損失	—	19,730
関係会社清算損	—	8,424
固定資産除売却損	38	4,638
投資有価証券売却損	1,386	—
特別損失合計	85,547	110,897
税金等調整前当期純利益	465,837	153,186
法人税、住民税及び事業税	33,923	56,944
法人税等調整額	△35,287	△117,058
法人税等合計	△1,363	△60,114
当期純利益	467,200	213,300
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1,448	△810
親会社株主に帰属する当期純利益	468,649	214,110

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	467,200	213,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,149	24,729
繰延ヘッジ損益	△60,887	58,992
為替換算調整勘定	△105,102	△3,781
退職給付に係る調整額	△19,214	29,420
その他の包括利益合計	△173,054	109,362
包括利益	294,146	322,662
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	295,341	322,917
非支配株主に係る包括利益	△1,195	△254

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,355,227	2,193,031	△2,041,300	△158,086	3,348,871
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			468,649		468,649
土地再評価差額金の取崩			80,030		80,030
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	548,679	—	548,679
当期末残高	3,355,227	2,193,031	△1,492,621	△158,086	3,897,551

	その他の包括利益累計額						新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	8,777	16,594	185,741	21,563	△3,312	229,364	14,530	3,897	3,596,664
当期変動額									
親会社株主に帰属する当期純利益									468,649
土地再評価差額金の取崩									80,030
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,149	△60,887	△80,030	△105,355	△19,214	△253,338	—	△1,195	△254,533
当期変動額合計	12,149	△60,887	△80,030	△105,355	△19,214	△253,338	—	△1,195	294,146
当期末残高	20,926	△44,293	105,710	△83,791	△22,526	△23,974	14,530	2,702	3,890,810

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,355,227	2,193,031	△1,492,621	△158,086	3,897,551
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			214,110		214,110
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△56		1,758	1,702
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△56	214,110	1,758	215,812
当期末残高	3,355,227	2,192,974	△1,278,510	△156,327	4,113,364

	その他の包括利益累計額						新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	20,926	△44,293	105,710	△83,791	△22,526	△23,974	14,530	2,702	3,890,810
当期変動額									
親会社株主に帰属する当期純利益									214,110
自己株式の取得									△0
自己株式の処分									1,702
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	24,729	58,992	—	△4,337	29,420	108,806	△1,693	△2,702	104,410
当期変動額合計	24,729	58,992	—	△4,337	29,420	108,806	△1,693	△2,702	320,223
当期末残高	45,656	14,699	105,710	△88,128	6,894	84,832	12,836	—	4,211,033

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	465,837	153,186
減価償却費	179,204	131,520
受取利息及び受取配当金	△5,381	△11,543
支払利息	57,741	62,751
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△243,789	4,638
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,386	△17
関係会社株式売却損益 (△は益)	△361,997	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	6,913
助成金収入	△39,700	△1,172
債務免除益	△25,006	—
棚卸資産評価損	84,122	78,103
店舗閉鎖損失	—	19,730
売上債権の増減額 (△は増加)	△156,735	120,015
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△161,733	532,487
仕入債務の増減額 (△は減少)	462,817	△315,206
未収入金の増減額 (△は増加)	△36,374	△189,579
その他	△158,995	199,485
小計	61,394	791,314
利息及び配当金の受取額	5,381	11,535
利息の支払額	△58,225	△58,598
助成金の受取額	39,700	1,172
法人税等の支払額	△17,039	△49,799
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,210	695,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△36,165	△14,713
有形固定資産の取得による支出	△54,568	△80,234
有形固定資産の売却による収入	504,181	—
無形固定資産の取得による支出	—	△3,046
投資有価証券の売却による収入	3,913	29
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△26,544	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	403,936
その他	1,345	2,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	392,161	308,048
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	252,384	△812,409
長期借入れによる収入	250,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△683,964	△589,466
その他	△65,751	△13,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247,331	△1,214,963
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,618	△6,751
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	159,423	△218,042
現金及び現金同等物の期首残高	976,471	1,135,894
現金及び現金同等物の期末残高	1,135,894	917,852

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業内容により、国内で販売事業を行う「国内販売」、専ら製造事業を行う「製造」、海外で販売事業を行う「海外販売」の3つを報告セグメントとしております。

なお、報告セグメントごとの事業内容は下記のとおりであります。

報告セグメントの名称	主な事業内容
国内販売	日本国内におけるドレスシャツ、カジュアルウェア、レディースシャツの販売事業およびそれに付随する物流事業、不動産賃貸事業
製造	国内、海外におけるドレスシャツ製造事業
海外販売	海外におけるドレスシャツ、カジュアルウェアの販売事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益又は損失(△)ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
一時点で移転される財 一定の期間にわたり 移転される財	9,949,886 —	1,100,655 —	253,391 —	11,303,932 —	— —	11,303,932 —
顧客との契約から生 じる収益	9,949,886	1,100,655	253,391	11,303,932	—	11,303,932
その他の収益	93,090	441	—	93,531	—	93,531
外部顧客への売上高	10,042,976	1,101,097	253,391	11,397,464	—	11,397,464
セグメント間の内部売 上高又は振替高	23,040	1,361,677	60,859	1,445,576	△1,445,576	—
計	10,066,016	2,462,774	314,250	12,843,041	△1,445,576	11,397,464
セグメント利益 (△は損失)	△107,489	50,491	5,428	△51,568	△49,827	△101,396
セグメント資産	9,721,216	2,172,620	140,143	12,033,980	245,302	12,279,283
セグメント負債	7,190,176	2,221,932	58,083	9,470,192	△1,081,719	8,388,472
その他の項目						
減価償却費	135,392	44,373	26	179,791	△586	179,204
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	33,646	20,922	—	54,568	—	54,568

(注) その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入であります。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	国内販売	製造	海外販売	合計		
売上高						
一時点で移転される財 一定の期間にわたり 移転される財	9,808,847 —	1,220,786 —	351,392 —	11,381,026 —	— —	11,381,026 —
顧客との契約から生 じる収益 その他の収益	9,808,847 66,991	1,220,786 —	351,392 —	11,381,026 66,991	— —	11,381,026 66,991
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売 上高又は振替高	9,875,838 41,870	1,220,786 1,099,040	351,392 186,708	11,448,017 1,327,619	— △1,327,619	11,448,017 —
計	9,917,709	2,319,826	538,101	12,775,636	△1,327,619	11,448,017
セグメント利益 (△は損失)	202,747	△33,498	13,913	183,161	37,847	221,009
セグメント資産	8,906,268	2,048,136	146,655	11,101,060	82,337	11,183,398
セグメント負債	5,802,532	2,353,744	11,637	8,167,914	△1,195,549	6,972,364
その他の項目 減価償却費 有形固定資産および 無形固定資産の増加額	101,943 66,089	30,108 15,291	6 —	132,058 81,381	△537 —	131,520 81,381

(注) その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入であります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額および当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,843,041	12,775,636
セグメント間取引消去	△1,445,576	△1,327,619
連結財務諸表の売上高	11,397,464	11,448,017

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△51,568	183,161
セグメント間取引消去	△49,827	37,847
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	△101,396	221,009

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,033,980	11,101,060
全社資産(注)	1,224,752	988,142
セグメント間取引消去	△979,449	△905,804
連結財務諸表の資産合計	12,279,283	11,183,398

(注) 全社資産は、主に親会社での余資運用(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

(単位:千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,470,192	8,167,914
セグメント間取引消去	△1,081,719	△1,195,549
連結財務諸表の負債合計	8,388,472	6,972,364

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	179,791	132,058	△586	△537	179,204	131,520
有形固定資産および無形固定資産の増加額	54,568	81,381	—	—	54,568	81,381

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	273.40円	296.13円
1株当たり当期純利益	33.08円	15.11円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	32.91円	15.03円

(注) 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,890,810	4,211,033
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	17,232	12,836
(うち新株予約権(千円))	(14,530)	(12,836)
(うち非支配株主持分(千円))	(2,702)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,873,577	4,198,197
普通株式の発行済株式数(千株)	14,950	14,950
普通株式の自己株式数(千株)	781	773
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	14,168	14,176

(2) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	468,649	214,110
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	468,649	214,110
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,168	14,174
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整 額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	73	66
(うち新株予約権(千株))	(73)	(66)
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(株式取得による企業結合)

当社は、株式会社フェールムラカミ（以下、「対象会社」という）と締結した株式譲渡契約に基づき、2024年5月1日付で対象会社の全株式を取得し、子会社化いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 対象会社の名称・所在地・事業内容など

名称	株式会社フェールムラカミ
所在地	新潟県村上市坪根521-6
設立	2008年10月
従業員数	125名
事業内容	シャツの企画・製造・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は2023年度からスタートした新中期3ヵ年経営計画の3つの基本方針、①オリジナルブランドの構築 ②B to Cの強化による収益アップ ③ドレス・カジュアル・レディース・ユニフォームの新商品開発と売上拡大に取り組んでおります。対象会社は2008年の設立以来15年以上に渡りメンズ&レディースのオーダーシャツを中心とした生産事業を展開しております。対象会社が当社グループに加わることで、当社の主力事業の一つである製造部門におきまして、B to Cの強化による収益アップや、ドレス・カジュアル・レディース・ユニフォームの新商品開発にシナジー効果が見込め、当社の企業価値向上に寄与するとの判断から、対象会社の株式を取得することといたしました。

(3) 企業結合日 2024年5月1日

(4) 企業結合の法的形式 現金を対価とする株式取得

(5) 結合後の企業名称 株式会社フェールムラカミ（変更なし）

(6) 取得した議決権の比率 100%

(7) 取得を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の100%を獲得したことによるもの

2. 取得対価の種類ごとの内訳、及び取得原価

取得対価	現金及び預金	50,000千円
取得原価		50,000千円

3. 主要な取得関連費用の金額（内容）3,000千円（アドバイザー費用等）

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法、及び償却期間：現時点では未確定

5. 企業結合日の受け入れ資産、引き受け負債並びにその主な内訳：現時点では未確定